

第2章 景観形成の方針

1. 広域的景観形成の方針

(1) だれもがイメージできる景観の骨格づくり

緑と水の骨格を際立たせる

大きな地形の特徴である丘陵地の斜面緑地と三大河川によって構成されている景観の構造をわかりやすくし、誰もが共通に思い浮かべることができる岡山市の都市のイメージを創りあげるため、次のような視点から景観づくりに取り組みます。

市街地からのバックスクリーンとなり、岡山の景観を育み見守ってきた山林の緑を守り、変わらない景観の基盤として後世に伝えていきます。

「おかやまガーデンリング構想」に基づき、市街地を取り巻く周辺4山・近郊5山を岡山を特徴づけるシンボルとして位置づけ、良好な景観を保全するとともに、身近に親しめる緑として守り育てていきます。

吉井川・旭川・笹ヶ瀬川の3大河川を岡山市の景観の骨格を形成する自然の軸として位置づけ、平坦地の景観のアクセントとして広大な水面や魅力ある水辺空間を守り活用していきます。



緑の骨格をなす金山、笠井山



水の骨格をなす旭川の清流

都市活動の「核」と「軸」を演出する

多くの人々が集まり、意識にのぼりやすい岡山の「顔」として重要な役割を果たす都心地区や主要な活動が集中する幹線道路沿道の景観を魅力的・個性的に演出し、都市のイメージを明確にするため、次のような視点から景観づくりに取り組みます。

岡山市の顔となる駅前や目抜き通り、商業・業務機能が集積する都心地区を景観の核として捉え、多くの人々が集まり高度な活動が展開する場としてふさわしい、風格とにぎわいを備えた魅力ある都市景観の形成を進めていきます。

多くの人々が利用し、岡山市の都市活動の軸となる放射状・環状の幹線道路の沿道において、それぞれの場所に応じた個性と魅力ある沿道景観の形成を進めていきます。

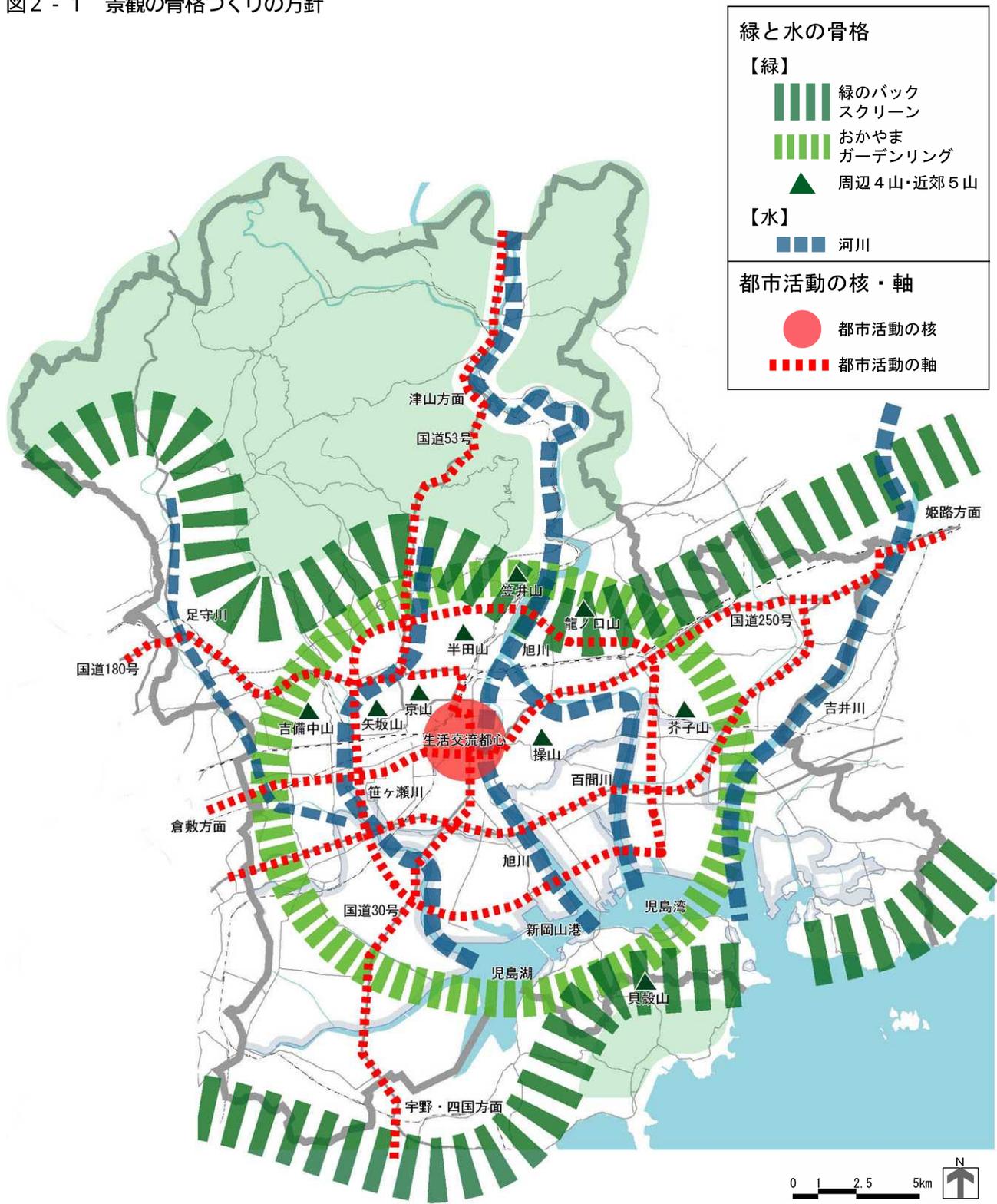


核となる都心の駅前地区



軸となる幹線道路

図2 - 1 景観の骨格づくりの方針



(2) 景域の特性を活かした景観づくり

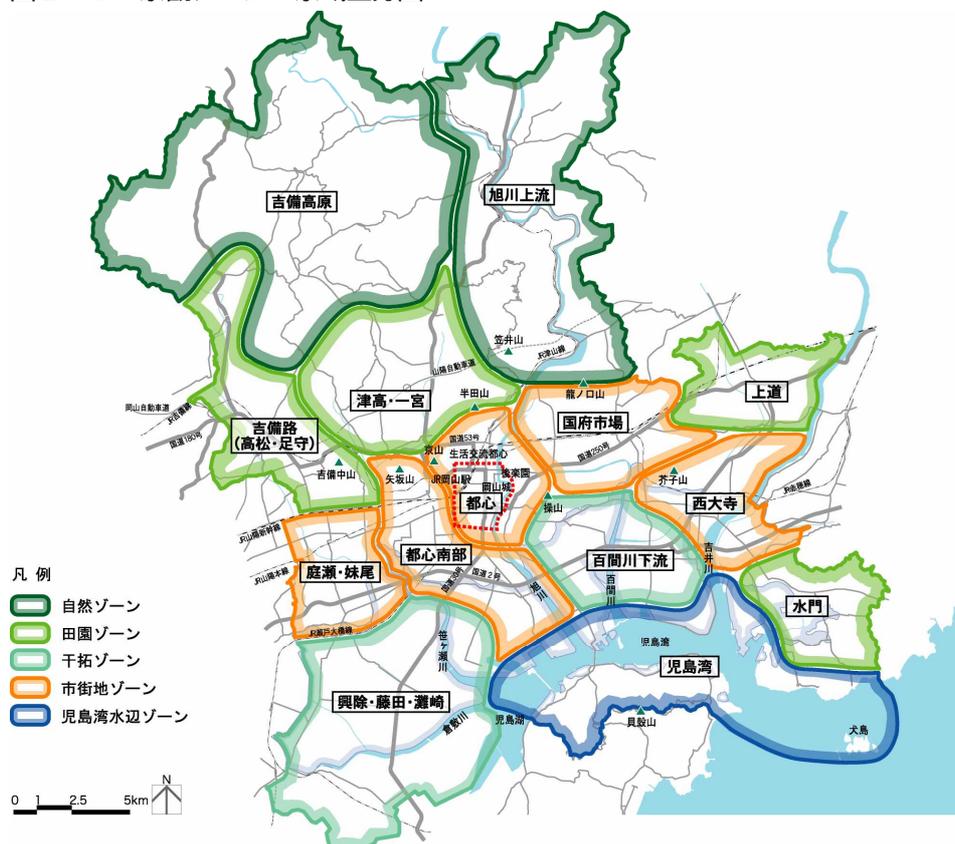
地形、水系や土地利用、景観の特徴を基本として、緑・水・農・歴史・都の原風景である5つの要素から市域を5つの景観ゾーンに区分し、基本的な景観形成の目標・方針を示します。

5つの景観ゾーンは景観のまとまりを持つ14の景域に区分しており、それぞれの特性に合わせ、5つの原風景の要素を活かしながら、岡山らしい景観を創り出すための方針を設定します。

表2-2 ゾーン別の景観の特徴

景観ゾーン	景域名	景観の特徴
自然ゾーン	吉備高原 旭川上流	緑、水の原風景が際立つ景観ゾーン ・美しい山々の連なりを背景にした旭川などの清流 ・山並みと調和した棚田など
田園ゾーン	吉備路(高松・足守) 津高・一宮 上道 水門	農・緑の原風景とともに歴史の原風景が際立つ景観ゾーン ・農地を主体とした農家集落や郊外住宅 ・山裾に分布する歴史的な街並みや文化財と一体化した農地
干拓ゾーン	興除・藤田・灘崎 百間川下流	農の原風景が際立つ景観ゾーン ・干拓による広大なスケールの農業景観
市街地ゾーン	都心 都心南部 庭瀬・妹尾 国府市場 西大寺	都の原風景とともに歴史の原風景が際立つ景観ゾーン ・岡山の顔となる都心部、市街地を主体に市街地周辺4山、旭川などの河川、水路、幹線道路等 ・庭瀬、西大寺などの旧街道沿い、門前町等の歴史的街並みなど
児島湾水辺ゾーン	児島湾	水の原風景が際立つ景観ゾーン ・児島湾と漁村集落、背景の山並みが一体となった景観

図2-3 景観ゾーン・景域区分図



注) 景観ゾーン区分の詳細は、
38頁の拡大図も参照のこと

表2 - 4 ゾーン別の景観づくりの目標・方針

景観 ゾーン	景観づくりの目標	景観づくりの方針
自然 ゾーン	市街地に近接する自然度の高い緑や水の景観を良好に保ちながら、市民の身近なやすらぎや潤いのある場としてふさわしい景観づくりを目指します。 個性ある農業景観の保全・伝承を目指します。	自然環境豊かな高原・丘陵地の緑地保全を図ります。 山頂部の良好な眺望を守り、活用します。 緑に囲まれた旭川上流部の河川景観の保全・活用を図ります。 高原・丘陵地の農村景観の適切な保全や、谷筋に残る棚田景観の保全を図ります。
田園 ゾーン	広がりのある農地・歴史的な街並みや文化財・落ち着いた農家集落・里山の緑によって構成される景観の基本的な特徴を守りながら、それぞれの地区の特性や資源を活かして調和のとれた個性豊かな景観づくりを目指します。	背景となる里山の保全を図ります。 良好な広がりをもった田園景観や果樹園などの特徴ある農業景観の保全を図ります。 地域の環境と調和した住宅地などの良好な市街地景観の形成を図ります。 足守、吉備路などの歴史的な資源(社寺、史跡、街並みなど)を活かした個性ある景観の保全や形成を図ります。
干拓 ゾーン	干拓地の広大なスケールの農業景観を守りながら、水路、河川、山並みや人の営みと調和した景観づくりを目指します。	広大な農業景観、特徴ある農業集落の景観保全を図ります。 河川・水路の水辺空間を活かします。 干拓の歴史を伝える遺構の保全を図ります。 農業景観と自然景観、人の営みが調和した景観の形成を図ります。
市街地 ゾーン	岡山市の顔となる都心地区において、中四国の拠点都市にふさわしい活気と風格のみなぎる都市の景観づくりを目指します。 市街地においては、市民がいきいきと暮らせる生活空間にふさわしい景観づくりを目指します。	岡山市の顔となる都心部では、にぎわい、風格ある景観の形成を図ります。 後楽園・岡山城など岡山市を代表する歴史的景観の保全、形成を図ります。 市街地を取り巻く周辺4山などの都市近郊緑地の保全を図ります。 庭瀬、西大寺の歴史的街並みなど、景域ごとの市街地の特性を活かした良好な市街地景観の形成を図ります。 都市軸を形成する幹線道路沿道の景観を整えます。 旭川や西川緑道公園などの水辺空間を活用し、アメニティを高めます。 市街地では緑を取り戻し、緑のネットワークを形成します。
児島湾 水辺 ゾーン	海辺の景観や山並み、海からの眺望を活かして市民に身近な水辺・水際の景観づくりを目指します。	児島湾を囲む緑地の保全を図ります。 水辺空間の魅力化を図ります。 歴史的集落や港町の景観保全を図ります。